

「+1(プラスワン) みんなで進める 協働のまちづくり」

この施策は、前述の「6つの施策の柱」を町民みんなの力で推進するためのものであり、「+1(プラスワン)」としているのは6つの施策を実施するためには必要不可欠なものであることを表しており、町づくりの合言葉・スローガンである「みんなでつくろう 日の出町！」そのものでもあると考えております。

是非、町民の皆様には、それぞれの立場からまちづくりに積極的に参画していただきたいと存じます。

主な施策として、ジェンダー平等推進のために啓発事業に取り組んでまいりま。さらには、多様な生き方を認め合う社会づくりが求められております。東京都ではパートナーシップ宣誓制度の素案を策定し、令和4年度中の導入が計画されています。町としても都の制度を活用することでのような対応が可能であるのか、都との連携を前提に研究してまいります。

すべての人がお互いを尊重し、個性と能力を十分に発揮して自分らしく暮らせる町を一緒に創ってまいります。



令和4年度予算案

予算編成の基本方針

(1) 第五次日の出町長期総合計画に掲げる「6つの施策の柱+1(プラスワン)」を中心施策とし、前期基本計画の最終年度であることを踏まえ、目標達成に向けた取組を着実に進めること。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策に加え、自治体DXの推進など「ポストコロナ」の取り組み、社会情勢の変化への対応、行財政運営の検討による持続可能な取り組みへの転換を図ること。

(3) 行政改革の不断の取り組み強化として、全ての施策及びその執行体制について、事業評価に基づき業務の重点化を図るなど事業の必要性・効果等を厳しく見極め、課題の整理及び解消に向けた行財政改革の取り組みを確実に予算見積りに反映させること。

この3点を基本方針として、予算編成に取り組みました。

財政規模

令和4年度の一般会計予算案の総額は、前年度比0.1%増の95億円となりました。

次に予算の内容につきまして説明いたします。

歳入では、根幹をなす町税が、町民税及び固定資産税の増により前年度比6.3%



増の26億千23万8千円となり、地方交付税は基準財政需要額の増加に伴い1.7%の増、また、東京都の市町村総合交付金は1.2%の増を見込みましたが、東京たま広域資源循環組合からの地域振興費については、協定に基づき5千万円の減になるなど非常に厳しい財政環境のもと、財源の確保に努めたところですが、投資的事業の一部については世代間の負担の公平化の観点と、財源不足に対応するため町債を活用することといたしました。増の3億2千700万円となりました。

歳出では、中心施策である「6つの施策の柱+1」の各事業経費は政策的経費として必要額を確保し、住民サービスの維持に努めたところでございます。

また、厳しい財政環境の中にあつても、本来あるべき住民サービスは低下させない、町民生活に大きな影響を及ぼさない、を基本理念として予算編成を行ったものであります。前述の施策とは別に、特別な予算措置として、令和元年の台風19号に関連する復旧経費については、必要額の満額を計上いたしました。

この一般会計に国民健康保険などの4つの特別会計を加えた予算の総額は、142億7千300万円となり、前年度比0.9%の増額となりました。

結びに

令和4年度の町政を進めるにあたっての政策及び中心施策、また、それぞれを裏付ける予算等について申し上げますが、今後も、引き続き町政を充実・発展させていくためには、この町の主人公である町民の皆様、議決機関である町議会及び議員各位、並びに執行機関である、私、町長を始めとする各行政委員会及び行政委員、また、執行機関を補助する町職員が、「みんなでつくろう 日の出町！」を合言葉に、それぞれの役割や責務を果たし、理解し、協力し合うことが何より大切であると考えております。

ポストコロナを見据え、「人にやさしく、住みよいまちづくり」に全力で取り組んでまいり所存でございますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。令和4年度の施政方針といたします。

令和4年2月28日

日の出町長 田村みさ子

